

令和 4 年度 犬山城関連主要事業（案）について

1. 犬山城の保存活用に関する事業

(1) 史跡犬山城跡整備基本計画策定

○史跡指定地である城山、三光寺山に加えて、追加指定候補地である犬山市福祉会館跡地を含む史跡全体を対象とした整備基本計画を策定する。

(策定期間)：令和 4・5 年度の 2 ヶ年

(2) 石垣調査の実施

○史跡犬山城跡の石垣の三次元測量等を行い、現状を調査して石垣カルテを作成し、保存・修理のための基礎資料とする。

(実施個所)：本丸東側、杉の丸南側・西側

(3) 石垣保護工事

○令和 3 年度の実施設計に基づき、樹脂製ネットの設置工事を実施する。

(工期)：5 月から 7 月頃（予定）

(4) 犬山城黒門跡礎石発掘調査

○市外に移築され、現存している黒門の原位置での復元整備について検討するため、礎石の残存状況や地形の改変状況を確認するための発掘調査を実施する。

(工期)：調整中

(5) 移築された門・櫓の復元に向けた調査

○犬山城城郭調査の一環として、廃城時に移築された市内外に現存する犬山城の門、櫓について、将来的な移築又は復元の際の基礎資料とし、記録としての保存を図ることを目的として、実測調査及び痕跡調査を実施。

(予 定)：運善寺山門（一宮市：伝清水門）、専修院山門（扶桑町：伝矢来門）

(調整中)：瑞泉寺山門（一宮市：伝内田門）

(6) 犬山城城郭内樹木剪定伐採

○国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、伐採、剪定等を実施。

(計画) 城郭内西側周辺を中心に、危険度、緊急度、重要度等に応じて対象木を選定。

※入場登閣料の収入状況を見ながら実施可否、実施本数を決定する。

(7) 犬山城天守防災対策

○国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドラインを受け、令和 2 年度の犬山城天守スプリンクラー概算設計、文化財建造物の防火・防災対策の専門家による現地調査の結果に基づき、犬山

城天守へのスプリンクラー設置の検討、人員配置計画等、今後の防火・防災対策全般について具体的な協議を進める。

※他の国宝四城の対策も調査し検討する。

(8) 「近世城郭の天守群」の取り組み

- 令和3年3月末に、文化庁文化審議会より「我が国における世界文化遺産の今後の在り方（第一次答申）」が出され、世界遺産暫定一覧表の見直しが明記されたことを受け、令和4年度中に一定の方向性が出される見込みのため、その動向を注視し、今後の活動の方向性の再検討を行う予定。
- ・国宝5城による「近世城郭の天守群」での、世界遺産暫定一覧表への記載に向け、松本市、松江市、犬山市の3市で、引き続き、世界遺産や天守建築の専門家等から、方向性の確認や資産価値についての意見聴取、基礎的な調査研究や課題の洗い出し等を行い、顕著な普遍的価値（OUV）の磨き上げを共同で実施する。
- ・海外の専門家を招いて、近世城郭の天守群の価値や、提案書原案についての意見聴取や、提案書原案の英訳についてアドバイスをもらう予定。
- ・姫路市及び彦根市の準備会への加盟について、更なる働きかけを行う。

2. 犬山城の管理に関する事業

(1) 主な維持・修繕

- 来訪者が快適に登閣してもらうために、経年劣化した設備等を適切に維持・修繕する。
 - ・城郭内案内看板改修工事
 - ・城郭内トイレ洋式化改修工事
 - ・天守一階展示スペース撤去工事
 - ・城郭内四阿基礎撤去工事
 - ・城郭内櫓跡地コンクリート撤去工事

(2) 犬山城の消防訓練及び無料開放の実施・防災対策強化

- 犬山城防災訓練の実施（日程調整中）
 - ・文化財の防災意識を高めるとともに発災時の初動対応を円滑に行えるよう、文化財防火デーに合わせ、犬山城職員、夜間警備員、犬山市消防本部・消防署等との合同消防訓練を実施。
- 火災を想定した“夜間初動訓練”の実施
 - ・夜間火災発生における初期対応を迅速的確に行えるよう“夜間初動訓練”を実施。
- 図上演習の実施
 - ・火災が発生した場合、その被害を最小限に抑えるため職員がとるべき行動を、自ら考えて、最善の方法を導き出すことが出来るよう“火災図上演習”を繰り返し実施し、PDCA サイクル（計画→訓練→検証→マニュアル改定）によるマニュアルの整備と、初動体制の向上を図る。